

建築学専攻 博士課程 教育ポリシー

人材養成の目的

本課程では、専門分野における知識を極め、研究、創作、技術開発において優れた学業業績を上げ、将来、次世代の建築学や建築界を支え、国際的な活動が期待できる研究者、建築家、技術者、専門家の養成を目的としている。

入学者に求める資質と能力

本専攻では、次のような資質と能力をもつ人材を求めます。

- ・建築学の専門領域において高度な学力を有し、柔軟な発想から、論理的な思考、創造、表現へ展開できること。
- ・広い知識を有し、多面的な捉え方から、合理的に方向性を見出すことができること。
- ・国際的に研究活動や創作活動を行うために語学力とコミュニケーションする能力を有していること。
- ・知のフロンティアを開拓する高い志と意欲を有し、社会に対する倫理観を有すること。

入学者の選抜方針

上記の資質と能力をもつ人材を選抜するために、本専攻では、英語外部テストのスコアによる語学力評価に加えて、学位論文あるいは研究業績、および、進学後の研究計画等に関する試問を実施します。

修得する能力

本課程では、上記の目的のために、次のような能力を修得することを目指す。

- ・専門分野の研究、創作、技術開発を実践するための高度な専門知識と学力。
- ・専門分野の研究、創作、技術開発において、国際的な潮流の中で先進的な活動ができる能力。
- ・国際的な活動におけるリーダーとして、論理的な説明、論述、議論ができる能力。

教育内容

本課程では、上記の能力を身に付けるために、次のような学習内容を設ける。

A) 専攻専門科目

研究分野における世界水準の高度な専門性に加え、幅広い専門知識とともに、境界領域でも実践的に活動できる能力の修得。

B) 博士論文研究

研究分野において世界的水準の研究を自ら構築し、実践する能力を修得するとともに、博士論文を執筆する。

C) 論理的対話スキル

国際的活動の中で将来、リーダーとして高度な専門知識にもとづき論理的な説明、論述、議論ができる能力を修得する。

学位の授与方針

本専攻の博士後期課程を修了するためには、次の要件を満たさなければならない。

1. 博士後期課程に所属した期間に対応する表5に示す講究科目を取得していること。
2. 博士論文審査および最終試験に合格すること。